

敦賀市開催競技

本大会編



福井しあわせ元気国体 2018
福井しあわせ元気大会 2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ



福井しあわせ元気国体

総合開会式



【期日】 平成30年9月29日(土)

【会場】 9.98 スタジアム (福井県営陸上競技場／福井市)

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」の総合開会式が天皇皇后両陛下ご臨席のもと、平成30年9月29日に9.98 スタジアム (福井県営陸上競技場／福井市) で開催されました。

降りしきる雨の中、昭和43年以来、50年ぶりとなる福井国体が開幕しました。式典では、満員の観客席からの大歓声に包まれながら各都道府県の選手団が入場行進を行うと、県内17市町から集まった炬火が、炬火台に点火。その後、選手を代表し、敦賀市出身で陸上成年男子の北川貴理選手となぎなた成年女子の渡辺啓乃選手が、力強く選手宣誓を行いました。

また、歓迎県民イベントや式典演技も行われ、会場を華やかに彩りました。





天皇皇后両陛下のご臨席



炬火台へ炬火の点火



選手宣誓する北川貴理選手（左）と渡辺啓乃選手（右）



伝統芸能やダンス等が披露された歓迎県民イベント



県民2,100人の「はびねすダンス」



01
開催準備編

02
本大会編
(国体)

02
本大会編
(障スポ)

03
資料編



国体正式競技

水泳（競泳）



【会期】 平成30年9月15日(土)～9月17日(月) 【会場】 敦賀市総合運動公園プール

国内トップアスリートの力強い泳ぎに魅了

水泳（競泳）競技は、会期前実施競技として9月15日から17日までの3日間、敦賀市総合運動公園プールで開催しました。リオデジャネイロオリンピックに出場した池江璃花子選手をはじめ日本代表の選手が多数出場し、観客席は連日満席となりました。

福井県勢は、成年男子400m自由形で尾崎隆太選手が4位、成年男子100m背泳ぎで西村駿弥選手が5位になるなど、5種目で入賞。

また、池江璃花子選手（東京）が少年女子Aの50m自由形で大会タイ記録、100m自由形で大会新記録で優勝するなど、5つの大会新記録が樹立し、大いに盛り上がる競技会となりました。





国内トップ選手も多数参加

少年女子A100m自由形で大会新記録を樹立した池江璃花子選手 (中)

01 開催準備編

02 本大会編 (国体)

02 本大会編 (障スポ)

03 資料編



国体正式競技

卓球



【会期】 平成30年9月29日(土)～10月3日(水)

【会場】 敦賀市総合運動公園体育館

成年女子歓喜の初優勝！

卓球競技は、9月29日から10月3日までの5日間、敦賀市総合運動公園体育館で開催しました。

福井県勢は、成年女子が予選リーグを全て3対0で勝利する快進撃をみせ、準決勝も岡山県に快勝。広島県との決勝戦は、地元応援団の大きな声援と期待を受け3対1で見事勝利し、悲願の初優勝を飾りました。少年女子も、順調に勝ち進み、準々決勝で強豪岐阜県に競り勝ち初のベスト4進出。準決勝で惜しくも愛知県に敗れましたが3位と大健闘しました。成年男子と少年男子は、粘りのプレーで奮闘するも、惜しくも1次リーグ敗退となりましたが、地元選手の活躍に会場は大いに盛り上がりました。



成年男子



徳島剛選手



斎藤稜馬選手



村田聖選手

成年女子



芝田沙季選手



橋本帆乃香選手



山本笙子選手

少年男子



中村厳文選手



坂田修選手



寺下拓海選手

少年女子



青木千佳選手



中島彩希選手



森廣伽衣選手



01 開催準備編

02 本大会編 (国体)

02 本大会編 (障入水)

03 資料編



国体正式競技

弓道



【会期】〈近的競技〉平成30年9月30日(日)～10月3日(水)

〈遠的競技〉平成30年9月30日(日)～10月2日(火)

【会場】〈近的競技〉敦賀市総合運動公園 弓道場

〈遠的競技〉敦賀市総合運動公園 陸上競技場特設遠的弓道場

「心技体」美しい所作で魅了

弓道(近的・遠的)競技は、台風24号の影響で、当初予定していた9月30日から10月3日の競技日程4日間を急きょ2日間とし、敦賀市総合運動公園弓道場及び陸上競技場特設遠的弓道場で開催しました。競技日程を短縮したことで、全種別全種目の予選が1回となり、成年男女の近的競技以外は、予選上位8県を1位とする競技方法としました。

福井県は、成年女子の近的4位、成年男子の近的6位となり、競技別男女総合成績15位、女子総合成績12位という結果でした。

その他、会期中には弓道に興味をもってもらおうと福井県弓道連盟が弓道体験コーナーを設置。多くの参加者が弓を射る感触を楽しんでいました。



成年男子

左から田中文裕選手、當麻直哉選手、新岡琢哉選手



成年女子



右原奈美選手



水嶋侑未香選手



園知代選手

少年男子



榎龍之介選手



岡田隆希選手



佐々木光翔選手

少年女子



細川茉奈美選手



安藤杏衣選手



嘉川楓香選手



弓道体験コーナー



福井県弓道連盟の指導を受けながら弓道を体験

01 開催準備編

02 本大会編 (国体)

02 本大会編 (障入部)

03 資料編



国体正式競技

ソフトボール (少年女子)



【会期】 平成30年9月30日(日)～10月2日(火)

【会場】 敦賀市きらめきスタジアム

はつらつプレーで、見事5位入賞!!

ソフトボール競技は、越前市、永平寺町、福井市、敦賀市の4市町で開催し、敦賀市では10月1日と2日の2日間、敦賀市きらめきスタジアムで少年女子を行いました。当初9月30日から10月2日までの3日間で行う予定でしたが、台風24号の影響により急きょ競技日程が変更となりました。

少年女子は、13県によるトーナメントで行われ、福井県は和歌山国体以来3大会ぶりの出場となりました。1回戦で長崎県と対戦し、接戦の末、1対0で勝利しました。続く準々決勝では、兵庫県に惜しくも敗れはしましたが、見事に5位入賞を果たしました。選手たちのはつらつとしたプレーは観客を魅了し会場を盛り上げました。

競技日程の短縮により決勝戦は行わず、準決勝で勝利した兵庫県と愛知県が優勝しました。





記録速報掲示板

少年女子

試合	対戦相手	結果	得点	打点	打率	投手	投球数	被弾数	防御率
1	対 〇	勝	3	5	0.300	〇	100	5	0.050
2	対 〇	勝	2	4	0.250	〇	90	4	0.044
3	対 〇	勝	4	6	0.333	〇	110	6	0.055
4	対 〇	勝	1	3	0.167	〇	80	3	0.037
5	対 〇	勝	2	4	0.250	〇	95	4	0.042
6	対 〇	勝	3	5	0.300	〇	105	5	0.048
7	対 〇	勝	4	6	0.333	〇	115	6	0.052
8	対 〇	勝	1	3	0.167	〇	85	3	0.035
9	対 〇	勝	2	4	0.250	〇	90	4	0.044
10	対 〇	勝	3	5	0.300	〇	100	5	0.050
11	対 〇	勝	4	6	0.333	〇	110	6	0.055
12	対 〇	勝	1	3	0.167	〇	80	3	0.037
13	対 〇	勝	2	4	0.250	〇	90	4	0.044
14	対 〇	勝	3	5	0.300	〇	100	5	0.050
15	対 〇	勝	4	6	0.333	〇	110	6	0.055
16	対 〇	勝	1	3	0.167	〇	80	3	0.037
17	対 〇	勝	2	4	0.250	〇	90	4	0.044
18	対 〇	勝	3	5	0.300	〇	100	5	0.050
19	対 〇	勝	4	6	0.333	〇	110	6	0.055
20	対 〇	勝	1	3	0.167	〇	80	3	0.037
21	対 〇	勝	2	4	0.250	〇	90	4	0.044
22	対 〇	勝	3	5	0.300	〇	100	5	0.050
23	対 〇	勝	4	6	0.333	〇	110	6	0.055
24	対 〇	勝	1	3	0.167	〇	80	3	0.037
25	対 〇	勝	2	4	0.250	〇	90	4	0.044
26	対 〇	勝	3	5	0.300	〇	100	5	0.050
27	対 〇	勝	4	6	0.333	〇	110	6	0.055
28	対 〇	勝	1	3	0.167	〇	80	3	0.037
29	対 〇	勝	2	4	0.250	〇	90	4	0.044
30	対 〇	勝	3	5	0.300	〇	100	5	0.050
31	対 〇	勝	4	6	0.333	〇	110	6	0.055
32	対 〇	勝	1	3	0.167	〇	80	3	0.037
33	対 〇	勝	2	4	0.250	〇	90	4	0.044
34	対 〇	勝	3	5	0.300	〇	100	5	0.050
35	対 〇	勝	4	6	0.333	〇	110	6	0.055



01 開催準備編

02 本大会編 (国体)

02 本大会編 (障入水)

03 資料編



国体正式競技

軟式野球



【会期】 平成30年10月5日(金)～10月8日(月)

【会場】 敦賀市総合運動公園野球場

地元の声援を受け、ベスト4進出！

軟式野球競技は、10月5日から8日までの4日間、美浜町、越前市、おおい町、小浜市、南越前町との6市町共催で行い、敦賀市では、敦賀市総合運動公園野球場で実施しました。

32チームによるトーナメントで争われ、福井県は、初戦から延長16回の大接戦。地元開催の大きな声援を受け見事勝利し、その勢いそのまま準決勝に進出しました。準決勝では大阪府と対戦し、グラウンドコンディションが悪い中、粘り強い戦いを繰り広げましたが、惜しくも敗れ4位となりました。

決勝戦は敦賀市で行われ、大阪府と愛知県が対戦。準決勝で福井県に勝利した大阪府が5年ぶり2度目の優勝を果たしました。





始球式

決勝戦(大阪府対愛知県)



北野 蒼和君(敦賀北ジェットストリーム)



01 開催準備編

02 本大会編 (国体)

02 本大会編 (障入ボ)

03 資料編



国体正式競技

空手道



【会期】 平成30年10月6日(土)～10月8日(月)

【会場】 敦賀市総合運動公園体育館

初の競技別男女総合優勝・女子総合優勝

空手道競技は10月6日から8日までの3日間、敦賀市総合運動公園体育館で開催しました。

福井県チームは、前野晃撰選手(成年男子組手軽量級)、大迫睦選手(成年男子組手中量級)、片山文香選手(成年女子組手)、森浩人選手(少年男子組手)が優勝。また、石濱直鴻選手(成年男子組手重量級)、小崎太基選手(成年男子形)、栗田歩選手(少年男子形)、山内花菜選手(少年女子組手)が2位、中川来望選手(成年女子形)が3位、齋藤美羽選手(少年女子形)が4位に入賞し、出場全選手が入賞を果たしました。

地元選手の連日の優勝、入賞により、会場は大いに盛り上がり、組手団体戦初優勝の瞬間には最高の盛り上がりを見せ、大勢の観客に感動を与える大会となりました。

この結果、福井県は、競技別男女総合成績と女子総合成績で初の優勝を果たしました。



成年男子組手中量級
大迫 睦選手



成年女子組手
片山 文香選手



少年男子組手
森 浩人選手



成年男子組手輕量級
前野 晃楨選手



少年女子形
齊藤 美羽選手



少年男子形
栗田 歩選手



成年男子形
小崎 太基選手



成年女子形
中川 来望選手



成年男子組手重量級
石濱 直鴻選手



少年女子組手
山内 花菜選手



01 開催準備編

02 本大会編 (国体)

02 本大会編 (障入水)

03 資料編



デモンストレーションスポーツ

ウォーキング



【会期】 平成30年8月19日(日) 【会場】 金ヶ崎緑地および市内コース

8月19日に金ヶ崎緑地および市内コースでウォーキングを開催しました。きらめきみなと館をスタート・ゴール地点とし、3kmコース・5kmコース・10kmコースの3種別に分かれ、約500人が参加。出発前に「はびねす体操」を行った後、はぴりゅうたちに見送られながら、意気揚々と出発しました。誰でも気軽にでき、健康やダイエットにも効果があるウォーキングは、年齢や性別を問わず幅広い層に親しまれるスポーツです。参加者は、敦賀赤レンガ倉庫や氣比神宮、氣比の松原、博物館通りなど、敦賀の名所を散策しながら、順位や歩行時間は競わず、各自のペースでウォーキングを楽しんでいました。





デモンストレーションスポーツ

ドッジボール

【会期】 平成30年8月5日(日) 【会場】 敦賀市総合運動公園体育館

8月5日に敦賀市総合運動公園体育館でドッジボールを開催しました。競技部門として、小学生低学年の部、小学生高学年の部、一般混合の部、一般女子の部の4種別が行われ、計22チーム約260人が参加。県内から選手が参加し、熱戦を繰り広げました。

また、交流部門としてスピードガンコンテストが行われ、約50人が参加。参加者は自己記録を出そうと必死にボールを投げていました。



小学生高学年の部

小学生低学年の部



一般女子の部

一般混合の部



スピードガンコンテスト



01
開催準備編

02
本大会編
(国体)

02
本大会編
(障スポ)

03
資料編



競技運営

国体運営サポーター



市民によるおもてなし

全国から訪れる選手や関係者、来場者の方々に「人道の港 敦賀」にふさわしい温かいおもてなしをするため、平成28年10月より国体運営サポーターを募集し、国体期間中に延べ563人の方に活動いただきました。

平成29年度にはサポーター研修会やおもてなし講習会が開催され、サポーターとしての心構えと来場者へのおもてなしについて学び、競技別プレ大会でも活動いただきました。また、平成30年度の国体直前には、運営サポーターの士気を高める決起集会も開催されました。

大会期間中は、オレンジ色のジャンパーと帽子を身にまとい、敦賀市の観光案内や会場の美化活動、休憩所での無料ドリンクの配付など、さまざまな場面で活躍していただきました。





01 開催準備編

02 本大会編
(国体)

02 本大会編
(障スポ)

03 資料編



競技運営

競技補助員



競技運営を支える若い力

敦賀市開催競技の競技運営を支える競技補助員として、6競技で、延べ1,634人の県内の中学生や高校生、大学生の皆さんに従事していただきました。

大会期間中は、会場整備や点数集計、表彰補助など、競技役員をサポートしながら競技運営を支えていただきました。





おもてなし

学校観戦



トップアスリートのプレーに熱視線

全国トップレベルの試合やプレーを間近で感じてもらおうと、市内の小中学校の全児童生徒を対象に学校観戦を行いました。約5,400人の子どもたちが、10月1日から3日まで卓球競技、弓道競技(遠的)、ソフトボール競技を観戦。選手たちの熱気あふれるプレーに声援を送り、会場を盛り上げました。



01
開催準備編

02
本大会編
(国体)

02
本大会編
(障スポ)

03
資料編



おもてなし

はぴねすマルシェ

(おもてなしエリア)



訪れたすべての方へおもてなし

各競技会場には、無料ドリンクコーナーなどの休憩所や、郷土物産品や飲食、スポーツ用品等の販売を行う売店、会場や敦賀市の観光などの案内を行うインフォメーション等を設置したおもてなしエリア「はぴねすマルシェ」を開設しました。また、競技観戦のスタンプラリーの目玉として、インフォメーションに巨大はぴガチャを設置し、2競技以上のスタンプを集めた方へのおもてなしを行いました。台風の影響により仮設物の一時撤去などがありましたが、国体期間中は、売店に行列ができたり、楽しそうにスタンプラリーを行ったりと、たくさんの選手や関係者、来場者で賑わいました。





水泳(競泳)競技の休憩所には、大型テントを設置しパブリックビューイングを実施



休憩所には、無料ドリンクコーナーを設置



売店には長蛇の列



観光案内や競技案内、スタンプラリーなどをインフォメーションで運営



はびねすスタンプラリーで巨大はぴガチャを設置。ガチャ玉の中身は国体記念グッズ!



敦賀工業高校制作の国体PR展示ブースも設置



JR敦賀駅周辺に駅総合案内所を設置

01 開催準備編

02 本大会編 (国体)

02 本大会編 (障スポ)

03 資料編



おもてなし

歓迎装飾



街中や競技会場をのぼり旗や花で飾り付け

全国から訪れる方々を温かくお迎えするため、競技会場をはじめ主要交通機関、市役所などに、歓迎装飾を設置しました。

主な設置場所として、市役所には来庁者への機運醸成を図ることを目的に、懸垂幕やエレベーターラッピング、階段装飾などで大々的に開催をアピール。敦賀市の玄関口となる駅やインターチェンジには、のぼり旗をはじめ、地元高校生によるガラスアートやフラッグ、歓迎看板等の手作り歓迎アートで温かな歓迎ムードを演出しました。

また、会期中には市内の小中学校の児童生徒に制作していただいた手作り応援のぼり旗やメッセージ横断幕、市民から花いっぱい運動で育成いただいたプランターなどの飾り付けを行いました。

手作り応援のぼり旗（各競技会場）





歓迎のぼり旗 (各競技会場)



メッセージ横断幕 (各競技会場)



懸垂幕・エレベーター装飾等(市役所)



スカイダンサー (はびねすマルシェ)



花プランター (各競技会場等)



協賛のぼり旗 (競技会場周辺)



歓迎フロアシート (上: 競技会場、下: JR敦賀駅)



歓迎フラッグ (各商店街)



歓迎看板 (敦賀インターチェンジ)



手作りフラッグ (敦賀駅前広場)、ガラスアート (敦賀駅交流施設オルパーク)

01 開催準備編

02 本大会編 (国体)

02 本大会編 (障スポ)

03 資料編



福井しあわせ元気国体

総合閉会式



【期日】 平成30年10月9日(火)

【会場】 9.98 スタジアム (福井県営陸上競技場／福井市)

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」の総合閉会式が平成30年10月9日、さわやかな秋晴れのもと、9.98スタジアム(福井県営陸上競技場/福井市)で行われ国内最大のスポーツの祭典が幕を閉じました。

各都道府県の選手団、大会関係者、観覧者ら計1万5030人が参加し、天皇杯・皇后杯の獲得が決定した福井県選手団の入場の際には観客席から大歓声があき起こりました。ご臨席された秋篠宮同妃両殿下は、熱戦を繰り広げた選手たちに惜しみない拍手を送られ、健闘をたたえられました。

国体のボート競技に出場した武田匡弘選手が炬火をトーチに分火し、障スポの水泳競技に出場する近江優菜選手に引き継ぎました。





感謝やねぎらいの言葉が描かれた横断幕を掲げ声援を送る都道府県応援団



秋篠宮同妃両殿下のご臨席



天皇杯・皇后杯授与



茨城県へ国体旗の引き継ぎ



炬火を引き継ぐ近江優菜選手（左）



01
開催準備編

02
本大会編
(国体)

02
本大会編
(障スポ)

03
資料編



福井しあわせ元気大会

開会式



【期日】 平成30年10月13日(土)

【会場】 9.98 スタジアム (福井県営陸上競技場/福井市)

第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」の開会式が皇太子殿下ご臨席のもと、平成30年10月13日に9.98スタジアム(福井県営陸上競技場/福井市)で開催され、福井県では初開催となる国内最大の障がい者スポーツの祭典の幕が上がりました。選手団が力強く入場行進すると、会場は拍手に包まれ、声援が送られました。福井しあわせ元気国体から引き継いだ炬火を7人がつなぎ、炬火台に点火しました。





01
開催準備編

02
本大会編
(国体)

02
本大会編
(障入ポ)

03
資料編



大会正式競技

水泳(身・知)



【会期】 平成30年10月13日(土)～10月15日(月)

【会場】 敦賀市総合運動公園プール

福井県選手団、金メダル10個の大活躍

水泳競技(身・知)は10月13日から15日の3日間、敦賀市総合運動公園プールで開催され、個人種目の自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ及び男女混合リレーの計10種目を行いました。福井県選手団は、金10個、銀8個、銅5個のメダルを獲得し、大活躍しました。





大会正式競技

フットベースボール(知)



【会期】 平成30年10月13日(土)～10月15日(月)

【会場】 敦賀市きらめきスタジアム

初出場で勝利！念願の3位

フットベースボール競技(知)は10月13日から15日の3日間、敦賀市きらめきスタジアムで開催されました。試合は、7チームのトーナメント戦で行われました。福井県は2回戦で熊本県に惜しくも敗退し、続く3位決定戦では静岡と対戦。選手たちは攻守に好プレーをみせ、接戦の末、念願の初出場初勝利で3位となりました。



01 開催準備編

02 本大会編 (国体)

02 本大会編 (障スポ)

03 資料編



福井しあわせ元気大会

閉会式



【期日】 平成30年10月15日(月)

【会場】 9.98 スタジアム (福井県営陸上競技場／福井市)

第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」は平成30年10月15日、9.98スタジアム(福井県営陸上競技場/福井市)で閉会式が開催され、「融合」を掲げて福井しあわせ元気国体会期中から競技が行われてきた祭典に幕が下ろされました。福井県勢は個人競技で過去最多の46個の金メダルを獲得しました。また、ソフトボール(知)が準優勝、フットベースボール(知)が3位に輝き、福井県に団体競技初のメダルをもたらしました。

閉会式は高円宮妃殿下ご臨席のもと、熱戦を終えた選手たちに観客席から惜しみのない拍手が送られました。次回開催地の茨城県へ大会旗を引き継ぎ、福井国体からつないだ炬火を納火しました。

